

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	<p>法人の福祉理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に、ご利用者・ご家族・地域の方に対してお役立ちができるよう努めています。</p> <p>ご利用者の「～したい」の思いを聴き、その人らしさを支える事を目標に、「生協10の基本ケア」に基づいた生活リハビリを行い、出来ることを増やすことで、「ご本人が望む暮らし」が実現出来るよう職員一丸となって取り組んでいます。</p> <p>また、「結のカフェ（認知症カフェ）」、「長生サロン」を毎月開催したり、「多目的室」を地域住民に貸し出したりすることで、地域に密着した事業所をめざしています。</p>
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 大野きらめきハウス	管理者	村崎 陽子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1人	0人	4人	0人	2人	0人	0人	2人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員の自己評価が自信を持って出来る様に、毎月少しずつ取り組みます。 自己評価の会議は、日程を決めて、参加率に関わらず開催します。話し合う内容を事前に提示し、欠席者は事前に意見をノートに書き、会議後に内容を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月少しずつ取り組む計画でしたが、年間計画を立てておらず、毎月実施はできませんでした。 事前に各職員が用紙に記入し、それをもとに全体で活発に話し合いを行いました。 欠席者に対しては、会議後、内容についての確認を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の皆さんで取り組んでいただいていると思います。 外部評価の資料を見ただけではわかりにくいことがたくさんありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価については職員の理解と業務のレベルの向上のために、年間計画を立てて取り組みます。 外部評価の際に、資料だけでは分かりにくいいため、日頃から運営推進会議参加者の方と交流できる機会を作っていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 家族会の開催は年2回（6月、11月）継続し、日々のご利用者の様子やレクリエーション活動での制作物を見て頂き、ご家族と話す機会をつくります。 地区の方々に小規模を知って頂く為に、『きまぐれカフェ』を開き、きらめき周辺地区の住民と交流を図ります。 大野きらめきの見学会を開き、取り組みを紹介していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族会で認知症の講演会を実施し、少人数でしたが、ざっくばらんに交流できました。 『きまぐれカフェ』は、近くの小学校や児童館へ案内を行い、4回開催、一緒にカキ氷やパフェを作る等、世代間交流ができました。ご利用者から「こんなに幸せなことないわあ」という声があがる程、大変喜んで下さいました。 きらめき内の見学については、ご希望者には随時ご案内しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設に来る機会がなかったが、「きまぐれカフェ」の企画のお陰で子供と一緒に来れて良かったです。 天神町は子供が少なくなりました。 児童館への声かけや小学校の授業のまちなか探検に取り入れてもらっても良いのではないのでしょうか？ 企画が多くなると利用者さんも職員さんも大変なので、きまぐれカフェを定着させていけばいいのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きまぐれカフェ」を継続し、子供たちとの世代間交流持てるようにします。 サロンや集会室利用者との関わりを増やせるしかけを考えていきます。 年2回（6月、11月）の家族会は継続し、家族同士が交流し、悩みや不安を話し合える場になるよう工夫していきます。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の外出をして、喫茶店や買い物等で、ご利用者が直に季節を感じて気分転換をはかれるようにします。 ・小規模へのボランティアの募集は、内容を明確にした上で、生協の組合員（福祉委員）や地域住民に呼びかけていきます。 ・町内の行事にご利用者と一緒に参加し、気軽に話せる関係作りを継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の外出は、上半期は定期的に行いましたが、後半は天候や計画性が弱く、外出は減少しました。 ・ボランティアに関して、神社清掃のボランティアを募集し、一緒に清掃活動を行いました。 ・町内のお祭り（天満神社の納涼祭）には、ご利用者とスタッフが参加し、カラオケを歌ったり、抽選会に参加したりと楽しく過ごす事が出来ました。 ・毎月の長生サロンや認知症カフェ（結のカフェ）、大野きらめき秋祭りでは、職員も交替で参加し、地域の方々と交流ができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画性が弱かったのはなぜですか？ ・清掃活動については中学生の子も参加してくれ、世代間交流ができて良かったと思います。 ・外部評価のアンケートをいただきましたが、地域（天神町）の生の声として地域にアンケートを出してはみてはどうでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな行事は年間で計画を立てますが、利用者のお出かけ希望があれば、都度実施できるよう検討します。 ・神社清掃や認知症カフェ・サロン・秋祭りなど、広報をしっかり行い、継続、発展させていきます。 ・天神町の生の声を聴く取組み（アンケート等）については、自治会長と実施をどうするか相談します。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『小規模』の認知度を高める為、「どのような活動をしているのか」が分かる手作りの新聞を年2回発刊し、天神町の方を対象に回覧をしていきます。 ・ご利用者と一緒に、大野市の行事に参加し、地域に溶け込んだ生活作りをしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小規模新聞」については、内容や役割分担等についての論議を行わず、計画倒れとなってしまういました。 ・越前大野名水マラソンでは、オープニングにおいて、利用者が車椅子走行で参加したり、きらめき駐車場にテントを張り、市民と一緒に応援したりしました。 ・結とびあで行われる各種イベント（福祉ふれあい祭・敬老会・文化祭ほか）に参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源とはどういうものなのでしょうか？ ・小規模新聞とはどこの地域をメインとして配布されるものですか？簡単なもので良いので活動がわかるものがあるといいですね。 ・「利用者以外の近所の心配な方についての関わりはどうしていますか」に関して、そこまで事業所はしないといけないものなのですか？ ・民生委員としてお困りの方がいらっしゃる時は声をかけてください。でも、「個人情報です」と言われると難しいこともありますよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源に関しては、その方を中心とした地域とどのような関係性があったか、今はどんな関係性があるのかを調べていきます。民生委員さんとも連携し活用できる社会資源（人・制度・場所ほか）を見つけ、連携を行っていきます。 ・きらめき周辺のイベントはもちろんのこと、利用者の住み慣れた地域のイベントに個別で参加できるよう支援します。 ・近所の心配な方については必要時に包括に相談します。 ・「小規模新聞」は今年度、最低年1回発行を目標に試みます。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きらめき通信で、運営推進会議の開催日、報告の内容を載せ、ご家族が気軽に参加して、色々な意見を頂けるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、「大野きらめき秋祭り」や「神社清掃」、「ラン伴」ほか、地域とともに開催するイベントの企画を、一緒に論議することができました。 ・会議の内容はきらめき通信に案内、報告をいたしました。しかしながら、その内容に関しての意見はあまり頂けませんでした。 	<p>なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きらめき通信に会議の日時・内容を案内し、ご家族の参加を増やします。 ・祭・神社清掃・ラン伴初め、イベントを企画するにあたり、事前に運営推進会議にはかり、意見を聴き、企画に反映させます。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練に関し、ご家族に事前案内を配布し、参加の呼びかけを行います。 ・緊急時の対策として、ご家族にも、消防署員によるAED講習の参加を呼びかけていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練では、消防署への通報訓練、避難誘導訓練、模擬消火訓練を行いました。 ・年2回の内、1回は消防署員 立会いの下、実施し、アドバイスを頂きました。 ・地元天神町（きらめき周辺のみ）、ご利用者ご家族にも参加頂き、ご利用者の避難誘導と、AED講習を一緒に行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幸い大野に災害が起きていないので怖さを知らないことが逆に怖いと思います。 ・訓練は大切なことです。防災訓練があるなら参加したいです。運営推進会議に次回の開催日を教えていただけるといいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに防災訓練の計画を立て地域の方にも案内を配布し、参加の呼びかけを行います。 ・これまで、なかなかできなかった民生委員さんとの関わりを少しでも増やしていきます。 ・地震以外の災害訓練、夜間を想定した防火訓練も検討します。